

みみよう幼稚園だより



平成30年10月号 ***** <http://mimyo.org/youchien/>

みんなみんな大活躍、運動会！

昨年より一週間早い開催となった第93回運動会でしたが、あれほど心配をしていた天候にも恵まれ、笑顔いっぱいでお終えることが出来ました。前日までは、雨降りの日も多く、公園や園庭での練習も数えるほどしかできませんでした。しかし、子どもたちは十分に個性も集団の力も発揮してくれました。その素晴らしい活躍に、何度も胸が熱くなりました。一人ひとりが、大きくなっています。それぞれの思いを持って、本番を迎え、やり抜くことができました。保護者の皆様も、きっと同じように感じていただけたと思います。



また、テント設営等、当日の朝になってしまった会場準備でしたが、本当にたくさんの応援をいただき、予定通りの時刻に開始をすることができました。競技中から終了後に至るまで、終始力強いお手伝いや熱い応援のお陰で、進行も大変スムーズで、おおいに盛り上がった運動会となりました。日頃より保護者の皆様のご協力には、感謝の気持ちでいっぱいなのですが、私たち職員だけではなく、保護者の皆様、ご家族の皆様と手を携えてこそその保育であり、幼児教育であることも、強く感じさせていただくことができました。そうした保護者の皆様の背中を日々見ているからこそその子どもたちの活躍なのですね。子どもたちからも、保護者の皆様方からもたくさんのことを学ばせていただきました。

本当にありがとうございました。

一年間の教育課程の中で、折り返し地点にあるこの時期に、運動会という大きな行事を経験することになる子どもたちは、同じクラスや学年だけでなく、多くの刺激を受け、大きく成長していきます。

東雲本町公園に練習のため、年長さんといっしょに園バスで行った日のことです。バスの乗り降りの際は、ステップの高さと足元の不安定さから、必ず先生が手を添えて乗り降りをさせています。その日は、私が子どもたちを誘導していました。声をかけながら、手をとって車外に下ろしていましたが、何人かの子供が、私の手を拒絶して、自らの手でしっかりと、柱や取っ手などを握って降りていきました。その表情は自信にあふれ、少し怒ったようにも見えます。「ぼくは、もう、赤ちゃんじゃないよ。自分でできるよ。」と…。取り残された私は、その可愛い後姿を見ながら、嬉しくもあり淋しくもありで、その成長とプライドに感動を覚えました。両手を持ってピョンと跳び下りて、びっくりする私の反応を喜んでくれる子どもも同様です。子どもたちを見る時に、ほんの一部分に目を向けて、しっかり丁寧に理解しようとする、本当に大きな変化や成長が見えてきます。運動会をやり切った子どもたちの数限りない成長を、ご家庭でもたくさん見つけていただきたいと思います。

…でも、もちろん安全第一、バスの乗り降りは、決して怯むことなく、これからはずっと手を取っていきますよ。

平成31年度の新入園児募集を開始いたしました。保護者と共に園見学や入園願書を取りに来られる子どもさんに接する度に、在園児さんの入園時の姿を思い出します。大きくなりました。遅くなりました。これまでも増して楽しくあそび込みながら、一人ひとりが伸びていく毎日になるようにと、決意も新たに後半戦をスタートさせてまいります。



園長 三上 玲子